

## 第12回認知症医療介護推進フォーラム

# 「認知症の人にやさしいまち・うじ」 の取り組みについて



**SINCE 2013**

宇治市について

総人口 180,210人

65歳以上 54,546人

高齢化率 30.27%

(令和6年4月1日現在)



ちはや姫

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
事務局長 川北雄一郎(社会福祉士)

Dementia-Friendly city Uji

# 認知症の人にやさしいまち・うじ その 歩み

宇治市初期認知症総合相談支援事業（平成25年度より）

- ・地域包括支援センターに専任の認知症コーディネーター配置  
（2名+補助スタッフ）

- ＊令和6年度より4圏域5名のコーディネーター配置(増員)

- ・事業のテーマ(目的)

- 「認知症の疾病観を変える」

- 「早期からの出会い」

- 「当事者・家族が安心して登場できる社会の実現」

- ・れもんカフェ(場)と初期集中支援チーム(機能)を事業の両輪に

**Dementia-Friendly city Uji**

# 認知症の人にやさしいまち・うじ その 歩み

- ★認知症を正しく理解するための連続講座開始
  - \*認知症の人にやさしいひとづくり → れもねいだー(ボランティア)
- ★「認知症の人にやさしいまち・うじ」市長宣言
  - \*市長がれもんカフェで当事者との出会いと語らいがきっかけ
- ★「宇治市認知症アクションアライアンスれもねいど」
  - \*やさしいまち・うじ実現に向けて市域全体で取り組み仕組み
- ★「しごとれもん」や「グループミーティング」
  - \*当事者の社会参加(就労的支援)や声を施策・事業に反映させる

Dementia-Friendly city Uji

# 認知症の人にやさしいまち・うじ宣言

平成27年3月21日

宣言の実現に向けて取り組む

**主語は「わたしたち」です。**

つまり、本人、家族、行政、医療・介護従事者はもちろん宇治市で暮らす人、働く人、学ぶ人、**すべての人**で取り組む目標(姿)です。



当時の市長がれもんカフェに参加されたことがきっかけで宣言ができました。

Dementia-Friendly city Uji

## 認知症の人にやさしいまち・うじ宣言

悠久なる宇治川の滔々たるながれ、心安らぐ茶のかわり、宇治には伝統と文化を大切に、そこから新しいものを生み出し、わたしたちのまちを築いてきた風土があります。

超高齢社会を迎え、ある時は認知症の人を支える側として、そしてある時は認知症の当事者として、誰もが認知症とともに生きる時代になりました。

認知症を避けようとするのは、自分自身や周りの大切な人を守ることに同じです。認知症を受け入れ、その人のありのままの姿をしっかりと見ることによって、認知症とともに生きる技術、知恵、文化を築くことができます。

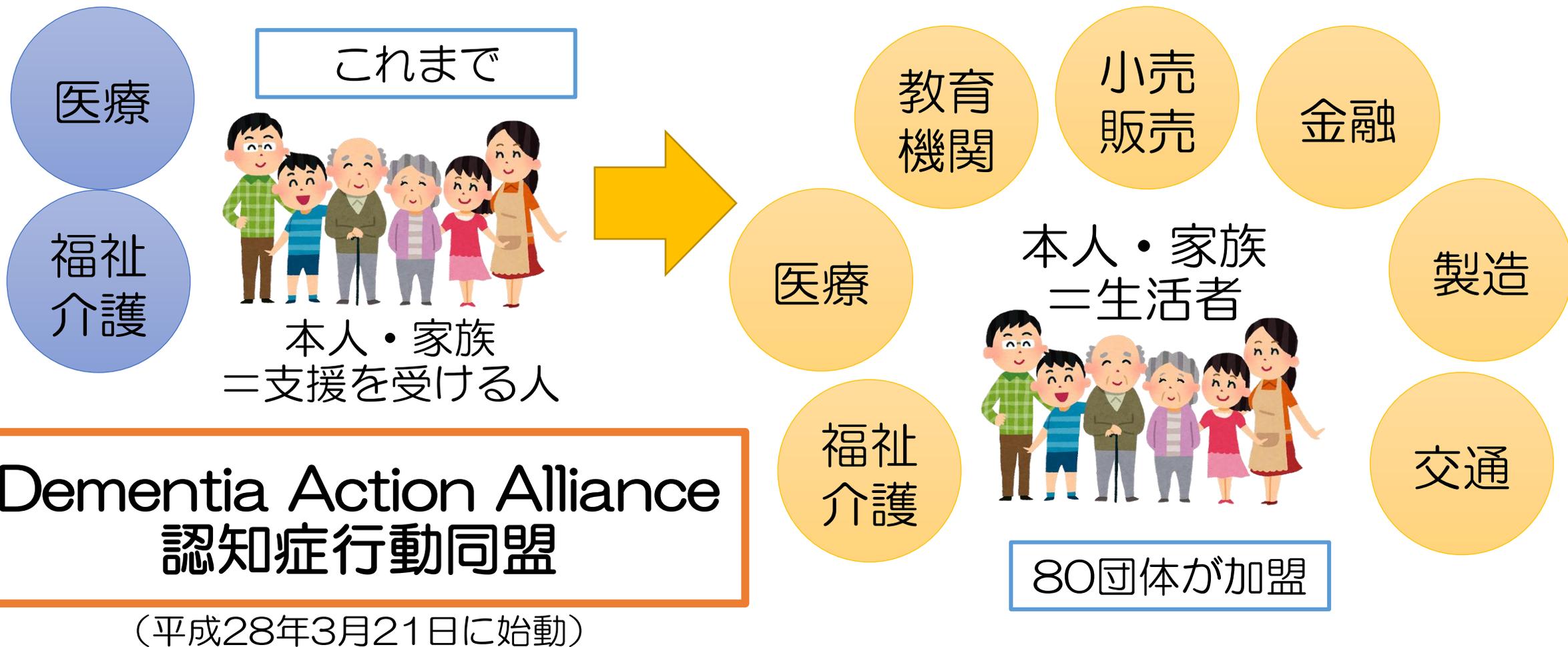
認知症になっても、これまでの人生で積み重ねた知識や経験を活かしてできることがたくさんあります。なにより、認知症の人が自ら語り、心豊かに暮らしている姿は、わたしたちの未来を明るく照らす道標になります。

わたしたちは約束します。

- 一、認知症の人の想いやその人らしさを尊重し、思いやりをもって行動します。
- 一、認知症を正しく理解し、世代や立場を超えてつながり、まち全体で支えます。
- 一、認知症の人が人生の最期まで安心して暮らせるまちを共に作りします。
- 一、認知症になっても、希望や生きがいを持って認知症とともに生きていきます。

この約束をわたしたち一人ひとりが深く心に刻み、誰もがふるさと宇治で自分らしく、尊厳を持って、認知症とともに生きていける「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために歩み続けることを宣言します。

# 宇治市認知症アクションアライアンス “れもねいど”

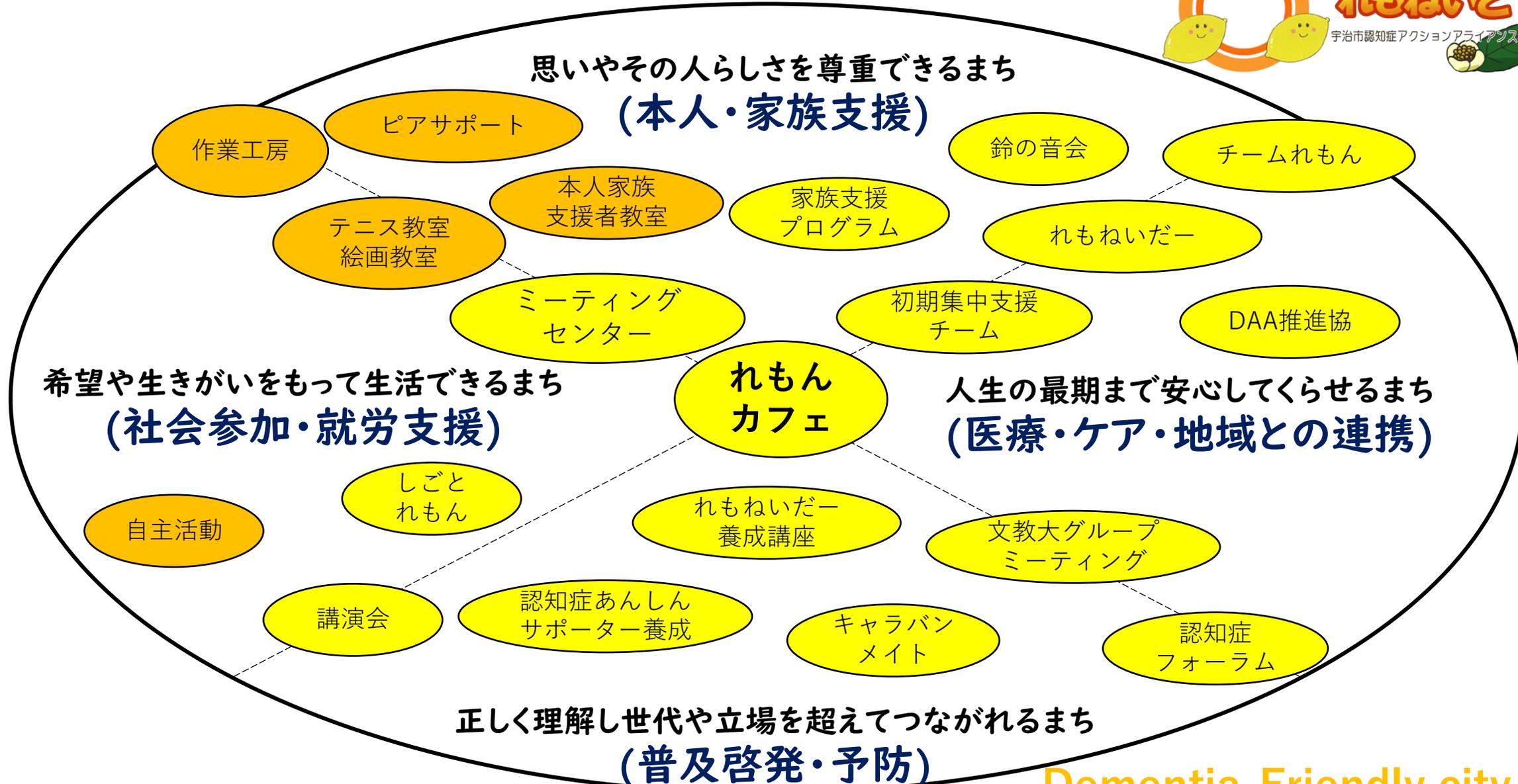


**Dementia Action Alliance**  
**認知症行動同盟**

(平成28年3月21日に始動)

**Dementia-Friendly city Uji**

# 認知症の人にやさしいまち・うじ



## しごとれもん 「お茶摘み編」

当事者・家族の「地域で活動したい！働きたい！」との声を受けて、2015年から開催。当初は1軒の茶農家からスタート。現在は3軒の茶農家で実施。摘高に応じて賃金として支払われる。



- ★1年目 初めての茶摘み  
茶農家さんに迷惑をかけないように1本1本緊張してつみました。
- ★2年目 宇治川のお茶の木でイメージトレーニング  
摘んだ茶葉にはkgあたりの賃金が支払われる。摘む責任。
- ★5年目 全国の品評会に出品する「茶葉」を摘ませていただいた。



## しごとれもん「万願寺とうがらし編」

収穫・仕分け・販売

- れもねいど加盟企業の京野菜農家からの提案で、2017年から開催。
- れもねいど加盟企業のレストラン等でこの万願寺とうがらしを用いたランチメニューを提供頂き、啓発活動にも協力をいただく。



## しごとれもん「こかぶ収穫編」

- 通年で活動できる機会として冬場のコカブ収穫を提案いただき、2018年から開催。
- 万願寺唐辛子編と同じ枠組みで実施



## 「宇治植物公園×れもんカフェ」

れもねいど加盟企業である宇治植物公園内でれもんカフェを開催。シンボルツリーのレモンの木の植樹も行いました。



## 「京都文教大学×れもんカフェ」

れもねいど加盟企業であり、当事者ミーティングの開催に協力をいただき、京都文教大学で開催のイベント内での講演活動と学生、当事者・家族による出張カフェを運営



## 認知症当事者・家族の声を政策や事業に反映させる取り組み

### 宇治市認知症アクションアライアンス推進協議会

半期毎に市内の認知症施策に関わる医療・福祉等関係団体の代表者や、当事者団体の代表者、そして宇治市の認知症事業に参加される認知症当事者・家族が参加し、れもねいど活動の進捗管理や提案等を行う協議の場を開催しています。



### 京都文教大学 当事者グループミーティング

文教大学の平尾教授のご指導の元、認知症当事者・家族、学生、ボランティア（れもねいだー）、企業（れもねいど加盟企業）等と一緒に話し合いの場を設け、「認知症の人にやさしいまち」実現に必要なことを考えます。



掲載の写真はご本人の同意を得ております。

**Dementia-Friendly city Uji**

# 「でぼしょdeれもん 珈琲道場」 2024年3月～

## 目指すこと

- \*最初の一步を躊躇う当事者を香りや役割(作業)で誘う。
- \*「場」に辿り着きづらい方々、(独居・昼間独居等々)の出場所づくり。
- \*コーヒーを通して、認知症当事者が各々の持つ力を自ら発揮・保持し、家族以外のパートナーを増やし、生活の再構築を図りながら就労の場となることも念頭に、周囲の認知症に対する正しい理解を促進していくこと。

## 活動

- \*認知症当事者と家族・支援者参加者全員がスタッフです。(作業 見守り 手伝い 味わい・くつろぎ 同行・・等々)
- \*コーヒーを中心に、その他の飲み物や茶菓を提供するための 練習・交流の場「珈琲道場」を設置し そこを居心地の良い「カフェ空間」にしながら可能な範囲で「出前カフェ」にも対応していきたいと考えています。



# 共生社会の実現に向けて「みんな当事者」

「だれでも、どこでも」

その人の「認知症」に沿った、適切なサポートが受けられる  
そんな地域社会の実現を目指して！



Dementia-Friendly city Uji